

授業科目	在宅看護概論 I		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	専任教員 (在宅看護経験有)					
科目目標	1. 我が国の社会的背景から地域包括ケアの重要性を理解する 2. 地域に関心を持ち、地域の特性と暮らしに対するニーズについて述べられる					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	地域在宅看護をめぐる社会背景 地域で暮らすということ	講義	専任教員	
	2	2	「暮らしと健康」について	講義		
	3	2	・暮らしの理解、多様性と共通性	グループ		
	4	2	・暮らしが人々の健康に与える影響	ワーク		
	5	2	・健康が暮らしに与える影響 ・学校のある地域の理解 ・地域マップの作成 「暮らしと健康」をテーマに調べ学習	フィールド ワーク		
	6	2	テーマ「暮らしと健康」についての発表とまとめ	グループ発		
	7	2		表 講義		
	8	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 30 点 課題 70 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院					

授業科目	地域・在宅看護概論Ⅱ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	訪問看護師（訪問看護ステーション） 非常勤講師（在宅看護経験有）					
科目目標	1. 地域看護における在宅看護の位置づけを理解する。 2. 在宅看護の役割と機能について理解する。 3. 在宅療養者とその家族について理解する。 4. 家族を理解するための諸理論を生かした家族看護のための視点について理解する。 5. 在宅看護に関する諸制度や関連機関について理解する。 6. 在宅看護における倫理的課題とその対応について考えることができる。 7. 在宅看護の今後の課題について考えることができる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	保健・医療・福祉の動向と地域包括ケア	講義	訪問看護師	
	2	2	在宅看護の目的と特徴	講義		
	3	2	在宅看護における看護師の役割と機能	講義		
	4	2	在宅看護の対象者の特徴	講義		
	5	2	地域包括ケアシステムにおける看護の役割	講義		
	6	2	保健・福祉の動向地域・在宅看護に関わる法令・制度	講義	非常勤講師	
	7	2	介護保険制度の創設と変遷	講義		
	8	2	介護保険で給付対象となるサービス	講義		
	9	2	ケアマネジメントの意義とプロセス	講義		
	10	2	在宅看護における権利保障	講義		
	11	2	訪問看護制度とその機能と役割	講義		
	12	2	多職種・他機関との連携・協働の意義と方法	講義		
	13	2	家族を支える看護	講義		
	14	2	在宅看護の展望と今後の課題	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践 医学書院					

授業科目	地域・在宅看護方法 I		単位数	2	時間数	15
担当講師 (実務経験)	看護師 (病院 退院支援看護師) 訪問看護師 : (訪問看護ステーション 看護師)					
科目目標	1. 地域・在宅看護の対象とその家族の特性を理解する。 2. QOL を考慮した生活の維持、自立へ向けての継続看護について理解する。 3. 在宅療養に向けての退院支援プロセスが理解できる。 4. QOL を考慮した生活の維持、自立へ向けての看護に必要な態度を養う。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	地域での暮らしを支えるための継続看護 1) 退院支援・退院調整とは 2) 退院調整が求められる背景 3) 地域連携クリティカルパス	講義	看護師	
	2	2	4) 退院支援にかかわる多職種 5) 退院調整の看護の役割 ・退院調整のシステムの構築			
	3	2	・退院支援のプロセスと仕組み ・退院支援計画の立案とアセスメント			
	4	2	・看護師が行う退院調整の特徴と意義 ・在宅医療部の相談業務・連絡調整での留意点 6) 必要な関係機関との連絡調整の技術 7) 信頼関係の形成・意思決定への支援			
	5	2	暮らしの場におけるマナーとコミュニケーション 1) 地域・在宅看護の活動におけるコミュニケーションとは 2) 訪問時の態度や行動、身だしなみ 3) 演習: サービスの契約、初回訪問	講義 演習	訪問看護師	
	6	2				
	7	2				
		1	終講試験	終講試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 医学書院 戸村ひかり: よくわかる退院支援 学研					

授業科目	地域・在宅看護方法Ⅱ		単位数	2	時間数	45
担当講師 (実務経験)	訪問看護師 非常勤講師 看護師 専任教員(在宅看護経験有)					
科目目標	1. 在宅療養者の日常生活援助方法について理解できる。 2. 在宅における医療管理を必要とする看護を理解できる。 3. 関係機関との連携や訪問時のマナーについて理解できる。 4. 暮らしの場で看護と協働するサービスについて理解する 5. 地域の暮らしを理解し、地域の特性をふまえた看護を考えることができる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	1. 訪問看護の役割と機能 ・訪問看護ステーションの管理と運営	講義 演習	訪問看護師	
	2	2	2. 暮らしの場における日常生活援助技術 1)生活を視点としたアセスメント 2)食生活・嚥下に関する技術 安全で楽しい食事、口腔ケア、嚥下訓練、嚥下体操			
	3	2	3)呼吸に関する看護技術 体位ドレナージ、スクイーピング 4)排泄に関する看護技術			
	4	2	オムツの工夫、陰部洗浄、便秘・便失禁の予防と工夫、浣腸、摘便、ストーマ管理 5)移動・移乗に関する看護技術 6)清潔に関する看護技術			
	5	2	自宅にある物を用いての清潔援助の工夫 10)環境調整と安全を守るケア 11)認知症高齢者と家族への支援			
	6	2	4)排泄に関する看護技術 膀胱留置カテーテルの挿入と管理	演習	専任教員	
	7	2	在宅における援助技術演習 福祉用具体験 ・各種車椅子(標準型・多機能型・セミモジュール型・ ティルトリクライニング型) ・各種車椅子用クッション、体圧測定器	演習	訪問看護師	
	8	2	・各種マットレス体験 各種移乗機器体験			

	9	2	地域包括支援センターの役割 認知症サポーター養成講習の受講から考える	講義	看護師
	10	2	地域で暮らす人々の健康を支える看護 グループに分かれて地区踏査を行い、地域の健康課題をアセスメント、保健計画を立案し、発表会を行う。	講義 グループワーク 演習	専任教員
	11	2			
	12	2			
	13	2	暮らしの場における医療・処置に伴う援助技術 1) 経管栄養の管理(経鼻・胃ろう)	講義	非常勤講師 看護師
	14	2	2) 在宅人工呼吸療法 ・気管カニューレの管理、吸引		
	15	2	3) 在宅酸素療法 ・日常生活支援と指導、肺理学療法		
	16	2	・非侵襲的陽圧換気療法		
	17	2	4) 中心静脈栄養管理 ・機材・器具の取り扱い		
	18	2	5) 在宅での感染予防と感染症の療養者への看護		
	19	2	6) 医療廃棄物の取り扱いについて 7) 在宅ターミナル期の療養者への援助 ・疼痛緩和 ・グリーフケア		
	20	2	8) 医療の継続と緊急時の対応 9) 褥瘡予防、褥瘡処置		
	21	2	10) 内服管理 ・医師、薬剤師との連携。家族や他サービスとの連携。		
	22	2			
	23	1	終講試験	終講試験	
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 角田直枝:よくわかる在宅看護 学研				

授業科目	地域・在宅看護方法Ⅲ		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	専任教員（在宅看護経験有）					
科目目標	1. 在宅看護における看護過程の特徴が理解できる。 2. 事例を通して、在宅での看護過程の展開方法を習得する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	在宅看護過程とは 在宅看護過程の構成要素	講義	専任教員	
	2	2	在宅看護の実際 訪問時のアセスメントの視点 在宅看護介入時期別の特徴	講義		
	3	2	事例展開 在宅看護過程の展開（老々介護、認知症、精神、難病）	グループワーク		
	4	2				
	5	2				
	6	2	事例展開の発表とまとめ	グループ発表		
	7	2		講義		
	8	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 50 点 演習課題 50 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践 医学書院					